

2014年11月度

第39回野田村仮設住宅訪問活動報告

2014年12月17日(木)
報告：松坂有佳子(旭川東光教会)

実施日：2014年11月21日(金)

参加者：13名

(敷教会4名、八戸教会2名、三沢教会1名、八戸聖書教会1名、北三陸教会、帯広教会3名、旭川東光教会1名)

お茶会用持参品：帯広銘菓、手作りクッキー、手作りラベンダーポプリ

門前・下安家・米田地区仮設個別配布用品物：使い捨てカイロ、手作りラベンダーポプリ

ここもかみのみくになれば



気持ちの良い秋晴れの日、第39回野田村仮設住宅訪問活動が行われました。礼拝からの始まりは、それぞれの場所から集められたボランティアが主の名によるチームとされていく大切な時です。気負いがスーッと抜けていくのを感じながら、共に主を賛美しました。

「よこしましはしは 時をうとも 主のみ旨の ややになりて あめつちついには ひとつとならん」

全国諸教会から寄せられる祈りがカタチとなり、運ぶ者たちの手に、心に、ずっしりと実感されます。

お茶会・秋の童謡を歌う会

野田中・泉沢の両お茶会共、とてもたくさんの方にお越しいただきました。すでに復興住宅に移られたりして、入居者数は減ってきている中での盛況ぶりに、考えさせられました。

一つには、村の進める復興の道筋に沿い、来春には大型の高台団地が完成することで、それぞれの生活の再建の有り様がはっきりし、今後せつかく築かれた人々の絆が、もう一度散り散りになるということもはっきりしてしまったのではないかと思います。若い方々はともかく、高齢の方々の孤独や不安は計り知れないものではないかと切なくなります。

帯広教会の3名の女性陣が「秋の童謡を歌う会」を企画してくださり、仮設の方も、ボランティアも、気持ちよく歌声を合わせました。



復興住宅・宅地造成



上の写真は来春の予定で急ピッチで造成が進んでいる大型の宅地用地です。約70世帯の家が建てられる予定です。その申込開始が直前に迫っているとのことでした。

下の写真は、下安家にできている復興団地です。下安家仮設住宅に入居しておられた8軒の内、すでに6軒が家を再建され、写られています。最後の1軒もすでに基礎工事を終えられて、来春には引越してできると喜んでおられました。

仮設住宅ではできなかった、2世帯で囲む食事の風景が、復活する日も遠くないことを一緒に喜びことができました。

被災地の中では、最も早く復興が進んでいる野田村。再建を果たして行かれることは本当に嬉しいことですが、それだけでは活れないところをしっかりと見つめて、祈っていかなくてはならないと思いました。